

12年目となった『狩野川能』は、初めての葦山時代劇場公演。今年は新たな試みとして、一般参加者の演目や手話狂言も披露。10月から能楽師の指導で稽古を積んだ一般市民21人が優美な舞いを見せました。

手話狂言は、日本ろう者劇団の劇団員が演じ、能楽師が陰から発するセリフを手話で通訳。会場に招かれた聴覚障害者も、一緒に狂言を楽しめる、全国的にも珍しい試みでした。

もちろんプロ狂言師のみの演目『棒縛』も披露され、会場を大いに沸かせました。約300人の観客は、斬新な試みと一流演者の洗練された伝統芸能の両方を堪能しました。

12/3 新たな試みと伝統披露 第12回狩野川能 開催



プロによる狂言『棒縛』(上写真)
新しい試み『手話狂言』(右写真)



選手の健闘を称え、さらなるタイム更新に期待！

12/3 昨年タイムを大幅更新
静岡県市町対抗駅伝市の部20位
第12回静岡県市町対抗駅伝競走大会が静岡市で開催され、県内35市町、39チームが出場しました。選手たちは郷土の誇りを胸に、県庁前をスタートし、ゴールの草薙陸上競技場を目指して走りました。

伊豆の国市は2時間24分56秒で市の部20位となり、昨年のタイムを1分以上も上回ることができました。皆さんの多数の応援ありがとうございました。また、この大会のため、半年の間、ご協力を頂いたスタッフの皆さんにも感謝します。

なお、選手たちの記録や力走を撮影した写真は、市ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。

12/7 安全・安心に取り組んで
青色防犯パトロール隊 出発式
犯罪や交通事故、火災の発生率が高く、市民の不安が募りやすい12月は『安全で安心なまちづくり推進月間』です。この日、あやめ会館前行われたパトロール出発式には、市職員や大仁警察署員、田方消防本部職員のほか、長岡地区民生委員児童委員、四日町区役員、オールウェイズ大仁などの市内各団体が集まり、青色防犯パトロール車(青パト)の出発に立ち会いました。

出発式の挨拶で市長は、「市民一人ひとりに、家庭や地域での防犯、交通安全、防火対策に取り組んでいただきたい」と語りました。



市民の安全・安心のため出発する青色防犯パトロール車



完熟した美味しさはイチゴ狩りならでは！

12/9 完熟イチゴを味わって
江間いちご狩りセンター 開園
市内のいちご狩りセンターでいち早くオープンした『江間いちご狩りセンター』。1月2日からはすべてのセンターが揃い、5月6日まで営業します。イチゴ農家の伊奈健司さん(大北)は「今年のイチゴは遅れ気味だが例年通り甘い。出荷イチゴでは味わえない、採りたて完熟の美味しさを味わって」と語りました。

入園料は時期により変動します。詳しい情報は各センターへ。

江間いちご狩りセンター
☎055(948)1115
伊豆長岡いちご狩りセンター
☎055(948)6160
葦山いちご狩りセンター
☎055(949)8215

11/13 親子連れで大盛況 消防フェスタ2011を開催

秋晴れに恵まれたこの日、葦山時代劇場を会場に、消防フェスタ2011を開催しました。日ごろは、昼夜問わず地域の防災活動に真剣な表情で取り組む消防団ですが、この日は訪れる人たちに笑顔で接客。消防団の活動を積極的にPRしました。

会場では、消火器による放水体験やポンプ車との記念撮影などが行われ、多くの親子連れでにぎわいました。特にポンプ車やはしご車の乗車体験コーナーではたくさんの園児たちが列を作りました。また、ステージでは女性消防隊による寸劇も披露。AEDの使用方法についてわかりやすく紹介していました。



消防団指導の下、消火器の使い方を体験する親子

11/19 地域の特産を味わって
秋の収穫祭を開催
地域の特産品の振興を目的に、恒例の秋の収穫祭を市役所大仁庁舎JA伊豆の国農協田中支店を会場に行いました。

あいにくの雨にもかかわらず、品評会出品農作物即売会では、良質な野菜などを安価で購入しようと多くの人で列を作りました。

守木区から訪れた親子は、お目当ての品を手に入れるため、販売開始1時間前から並んだそうです。「この祭りは、即売会が一番の魅力。並んだ甲斐がありました」と、自然薯を手笑顔で話していました。

そのほか会場内では、バター作り体験、木工教室などが行われました。



良質で安価な野菜を前に、品定めをする来場者

11/19 自分の意見を堂々と発表 子ども・若者育成支援大会開催

市民一人ひとりが、地域の子ども育成にかかわるため、子ども・若者育成支援大会を葦山時代劇場で開催しました。雨の降るあいにくの天気にもかかわらず、会場には多くの親子や教育関係者が詰めかけました。

しゃぐりや少年野球の指導者など1団体6個人に青少年健全育成成功労表彰が行われた後、市内小中学校の代表者9人が『わたしの主張』を発表しました。

代表者は人前での不慣れた発表に時折、緊張した様子を見せながらも、最後まで自分の意見を堂々と発表。発表が終わるたび、会場からは温かい拍手が送られました。



『命のリレー』を発表した西村恒星くん(大仁北小)

11/20~12/7 気軽に芸妓文化を 芸妓まつりあやめ座 開催

今年も、芸妓文化を誰でも気軽に楽しんでもらうための人気イベント『芸妓まつりあやめ座』を開催しました。

今回の会場は、『古奈別荘』と『山田家』の二つの旅館の宴会場。11月20日から12月7日までの間、伊豆長岡温泉の芸妓衆が3つのグループに分かれて行った公演は、全6回で約580人の来場者がありました。

取材した11月30日、県内外から山田家に集まった約100人のお客さんは、芸妓衆の華やかな踊りや演奏に酔いしれ、一緒にお座敷遊びを楽しむなどして、伊豆長岡温泉の芸妓文化を堪能しました。



会場が酔いしれた芸妓衆の華やかな舞い(山田家)